

計測機能付き工業用内視鏡 GAZE



このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全にご使用いただくためにも本取扱説明書を必ずお読みになり、内容を理解してからご使用ください。

また、本取扱説明書はいつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。

本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写、転載することはおやめください。

※万一、足りないものがございましたら、弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。

※デザイン及び仕様については、改良のため予告なしに変更する場合がございます。

※本書に記載している製品名、サービス名等は各社の登録商標です。

目次

1. 安全上のご注意	1
2. 同梱品のご確認	3
3. 各部の名称	
3-1. モニタ	4
3-2. コントローラ	5
4. ご使用前の準備	
4-1. バッテリの充電	6
4-2. モニタとコントローラの接続手順	6
4-3. モニタとコントローラの連結手順	7
4-4. マウスの接続手順	7
5. ソフトウェアの操作方法	
5-1. メイン画面	8
5-2. Picture View画面	12
5-3. Video View画面	16
5-4. 測定画面	18
5-4-1. Cut View	21
5-4-2. 測定方法	23
5-5. フォルダ管理画面	29
5-6. レポート管理画面	30
5-7. システム設定画面	33
6. その他	
6-1. HDMI外部モニタへの出力	36
6-2. 製品仕様	37
6-3. 製品を破棄するときのお願い	38
6-4. 故障かな？と思ったら	38
6-5. よくあるお問い合わせ	38
サポートおよび企業情報	巻末

1.安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負う危険がある内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 …「してはいけない内容」です。

 …「実行しなければいけない内容」です。

危険

 人体や動物の体腔内観察には絶対に使用しない
人や動物が死亡、および重傷を負うおそれがあります。

 加熱性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない
火災や爆発の原因となります。

警告

 異常・故障時には直ちに使用を中止する

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 内部に水や異物が入った
- 製品本体が異常に熱い
- 製品本体が破損した

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

1. 安全上のご注意 (つづき)

分解、改造をしない

感電や、けがの原因になります。

挿入部以外の部分に、水などの液体をかけたりしない

※挿入部以外は防水性能がありません。

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

稼働中、および通電中の検査対象物に挿入部を挿入しない

機器の破損や感電などの事故の誘発につながります。

製品および付属品は乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

万一、飲み込んでしまったら、すぐ医師にご相談ください。

先端部からの出射光を直視しない

目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

注意

次のような場所に放置しない

●異常に温度が高くなる場所(特に真夏の車内やボンネットの上など)

●油煙や湯気の当たるところ

●湿気やほこりの多いところ

火災や感電の原因になることがあります。

ケーブルを鋭角に折り曲げない

ケーブルに過度なストレスがかかり故障の原因になります。

カメラを太陽光や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因となることがあります。

製品に、強い振動や衝撃、圧力をかけない

製品を落としたり、ぶつけたり、モニタに圧力をかけたりすると故障の原因となります。

カメラ操作レバーはカメラケーブルをストレートに保った状態で操作する

カメラケーブルに曲げなどの過度なストレスをかけた状態でカメラ操作レバーを操作するとカメラケーブルの劣化や故障の原因となります。

2. 同梱品のご確認

●以下の内容物がそろっているかご確認ください。



☐ コントローラ（カメラケーブル付き）



☐ ストラップ



☐ ACアダプタ（12V/3A）



☐ マウス



☐ HDMI ケーブル

☐ USB メモリ

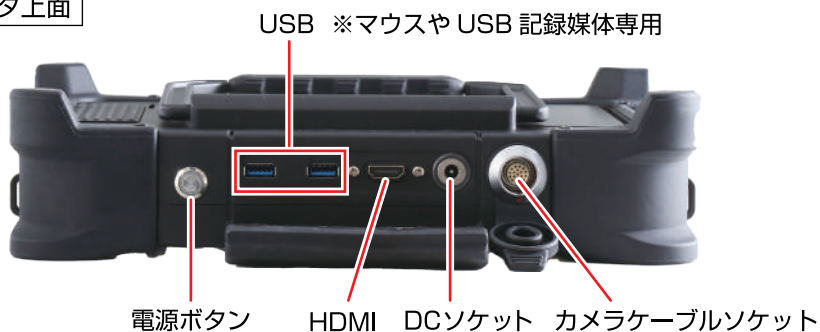


☐ 取扱説明書（本書）

3. 各部の名称

3-1. モニタ

モニタ上面



モニタ背面



モニタ側面



⚠ 持ち手に関する注意事項

- モニタを持ち運ぶ際は持ち手を持って持ち運んでください。
- スタンドとして使用しないでください。モニタの重量に耐えきれず、倒れる恐れがあります。

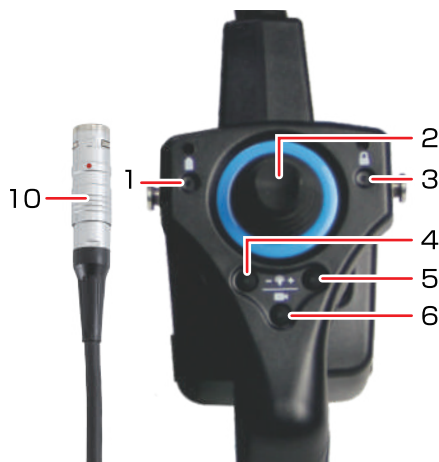
持ち手の使用例



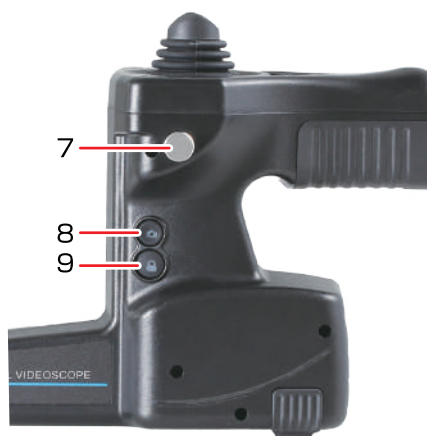
3. 各部の名称 (つづき)

3-2. コントローラ

コントローラ正面



コントローラ側面



※両側面とも同じ配置にボタン、金具があります。

1. 電源インジケータ コントローラを接続し、電源が入ると緑点灯します。
2. カメラ操作レバー レバーを上下左右に動かすとケーブル先端も上下左右に動きます。
3. ロックインジケータ ロックボタンを押すと赤点灯します。
4. 調光ボタン(－) 光が段階的に暗くなります。(0～12段階で調整可能)
5. 調光ボタン(＋) 光が段階的に明るくなります。
6. 録画ボタン 録画を実行し、もう一度押すと録画を停止します。
7. 連結金具 モニタに連結させることができます。
連結方法については「4-3. モニタとコントローラーの連結手順」をご参照ください。
8. 写真撮影ボタン 撮影します。
9. ロックボタン ケーブル先端のカメラ角度をロックします。
ロック後もコントローラで微調整可能です。
10. 接続プラグ モニタと接続するためのプラグです。

4. ご使用前の準備

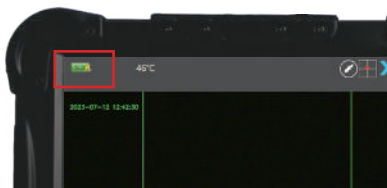
4-1. バッテリーの充電

- 1 ACアダプタの充電プラグをモニタのDCソケットに接続してください。



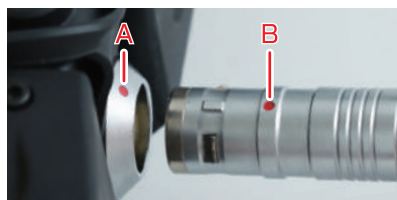
- 2 充電が開始されるとDCソケットが青点灯します。

- 3 本体の電源を入れ、メイン画面からバッテリーの充電状況を確認してください。

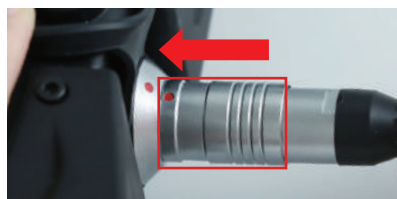


4-2. モニタとコントローラの接続手順

- 1 接続プラグとカメラケーブルソケットには写真のA,Bで示すように赤い点があります。



- 2 赤い点を揃えた状態で接続プラグをソケットに挿入します。



※接続解除時は赤枠部分のプラグを持って引き抜いてください。

4. ご使用前の準備 (つづき)

4-3. モニタとコントローラの連結手順

- 1 コントローラ連結金具をモニタ側面の連結穴(大)に挿し込みます。



- 2 コントローラの上部を手前に傾けて、奥側の連結穴(小)にスライドさせます。



- 3 コントローラを元の角度に戻して、確実に連結されていることを確認します。

※取り外しの際は上記と逆の手順を実行してください。

4-4. マウスの接続手順

- 1 マウス底面の電池ボックスを開け、単4形アルカリ乾電池2本を入れます。

- 2 マウス底面からレシーバーを取り出し、モニタ上面のUSB端子に挿し込みます。

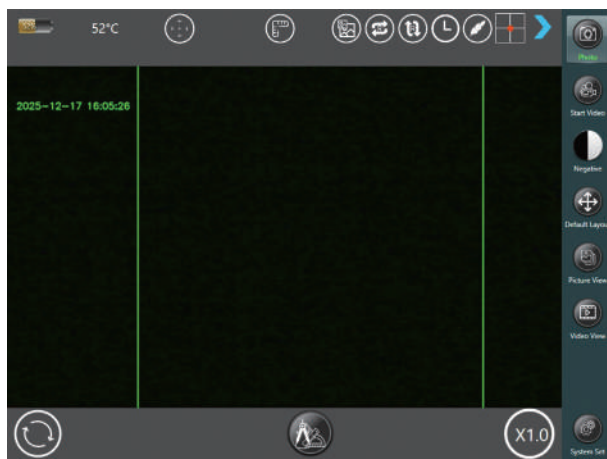


- 3 電源を入れると使用可能になります。

5. ソフトウェアの操作方法

5-1. メイン画面

電源ボタンを押して電源を入れると、メイン画面が表示されます。



中央部分はリアルタイム表示エリアです。

コントローラの接続プラグをモニタに接続すると、リアルタイム画像が表示されます。



バッテリー情報がパーセンテージで表示されます。

充電器が接続されている場合、バッテリーアイコンに充電中であることを示すマーク  が表示されます。

※バッテリーが満充電の状態でも、表示が100%にならない場合があります。
これは、バッテリーの状態判定や表示更新の仕組みによるものです。



倍率を示します。画面をタッチしてピンチイン/ピンチアウトすると拡大/縮小できます。



モニタとコントローラが接続されるとレンズの温度が表示されます。設定した温度を超えると、温度アイコンの左側に  が点滅します。

5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

5-1. メイン画面（つづき）



画面上にガイド表示（円弧・数値）を重ね、観察対象が同一平面上にあるかを確認するための機能です。

表示される数値はZ軸（奥行き方向）の距離情報に基づく相対的な目安で、実寸を示すものではありません。

本機能は平面判定の補助を目的としています。



画面中央に十字のガイド線と目盛を表示し、観察対象の位置合わせや中心確認を行うための機能です。

対象物の左右・上下のずれや配置バランスを視覚的に確認できます。



大画面にメインカメラ映像、小画面にサブカメラ映像を同時に表示する機能です。



映像を左右反転します。



映像を上下反転します。



カメラの露光時間を調整する機能です。

明るさや被写体の状態に応じて、映像を確認しながら調整してください。



ビデオに注釈を追加します。選択すると入力ボックスが表示され、入力が完了すると映像の左上の時間位置の下に入力した情報が表示されます。



表示中の映像を一時的に停止（フリーズ）する機能です。

選択すると、その時点の画面が固定表示されます。

再度操作すると、ライブ映像表示に戻ります。

5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

5-1. メイン画面(つづき)



フリーズ中の画面にテキストを挿入する機能です。
画面をタップした位置にテキストを配置できます。

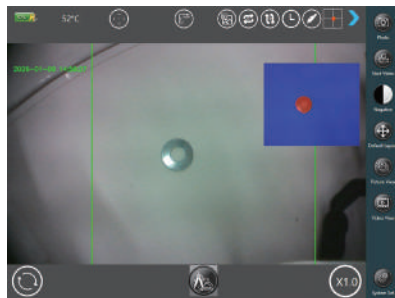


フリーズ中の画面に矢印を表示する機能です。



3D測定用の写真を撮影します。

撮影後、測定用の写真が小さく表示され、画像をタップ/クリックすると測定画面に移行します。具体的な測定方法については、「5-4-2. 測定方法」を確認してください。



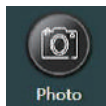
このアイコン内の赤い点でカメラケーブル先端の状態を確認できます。
カメラ操作レバーを上に戻すと、ケーブル先端が上に曲がります。ケーブルが上に曲がると、赤い点カーソルが上に移動します。
カメラ操作レバーを下に戻すと、ケーブル先端が下に曲がり、赤い点カーソルが下に移動します。左右方向も同様です。



この矢印をタップ/クリックすると右側のボタン領域が非表示になります。
もう一度タップ/クリックすると再表示されます。

5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

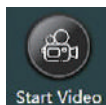
5-1. メイン画面（つづき）



写真を撮影します。

コントローラの写真撮影ボタンを押すことでも写真を撮影することができます。撮影した写真は「Picture View」で確認できます。

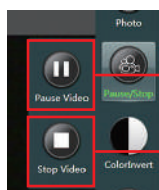
写真が保存されると「Picture Saved Successfully!」と表示されます。



録画を開始します。

録画が開始されると、Start Videoの左側に 2 つのアイコン「Pause Video」「Stop Video」が表示され、録画を一時停止および停止します。

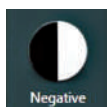
録画中は録画マーク ● が点滅し、録画時間が表示されます。



録画が一時停止され、録画マークの点滅が止まります。

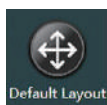
アイコンが「Continue」に変わります。「Continue」を選択すると再度録画を開始します。

録画を終了します。

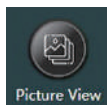


色を反転して表示します。

微細な隙間等を観察する際、色反転することで見やすくなる場合があります。



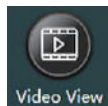
デフォルトのレイアウトに戻します。



保存した写真の確認、削除、エクスポート、測定、保存名の変更ができます。実際の画面の説明については「5-2. Picture View画面」を確認してください。

5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

5-1. メイン画面(つづき)



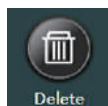
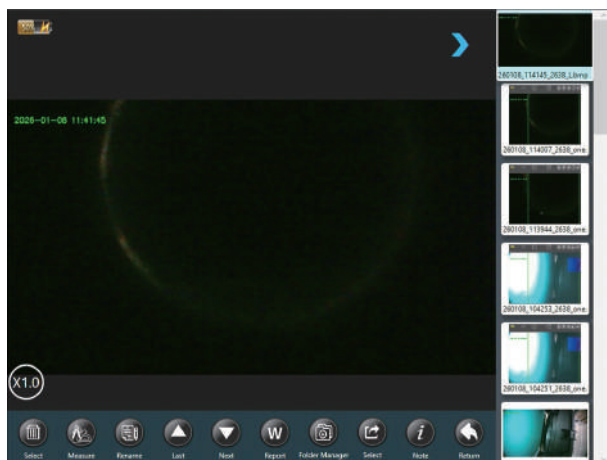
保存されたビデオの確認、削除、エクスポート、保存名の変更ができます。実際の画面の説明については「5-3. Video View画面」を確認してください。



設定画面を開きます。
日付と時刻設定、画面の明るさの調整、アラーム温度の変更、画像再起動、シャットダウンなどの設定ができます。実際の画面の説明については「5-7. システム設定画面」を確認してください。

5-2. Picture View画面

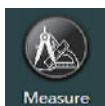
メイン画面の「Picture View 」をタップ/クリックします。



プレビューリスト(画面右側)で選択した画像を削除します。
削除前に確認画面が表示され、「OK」を選択すると画像が削除されます。

5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

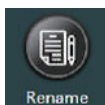
5-2. Picture View画面(つづき)



測定画面に移動します。

選択した画像が測定可能な画像の場合のみ表示されます。

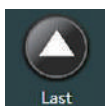
具体的な測定方法と概要については、「5-4-2. 測定方法」を確認してください。



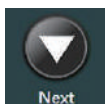
画像ファイル名を変更します。

タップ/クリックするとファイル名の入力画面が表示されます。

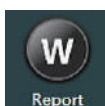
新しいファイル名を入力し、選択した画像の名前を変更することができます。



現在表示している画像の前の画像を表示します。



現在表示している画像の次の画像を表示します。



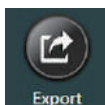
レポートの生成、表示、削除を行います。

具体的な操作方法については「5-6. レポート管理画面」を確認してください。



フォルダの削除、作成、名前変更などの操作ができます。

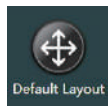
具体的な操作方法については「5-5. フォルダ管理画面」を確認してください。



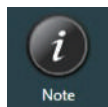
選択した画像をエクスポートします。(エクスポートする前に、USBメモリなどの外部ストレージデバイスを接続しておく必要があります。)

5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

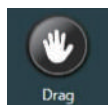
5-2. Picture View画面(つづき)



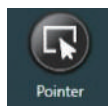
デフォルトのレイアウトに戻します。



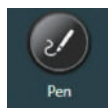
注釈機能のアイコン一覧を表示します。
一覧から、テキストや矢印、描画などの注釈機能を選択できます。



各種注釈モードを終了します。



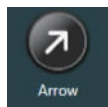
挿入した線やテキストを選択し、位置を移動できます。



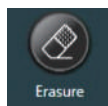
画面上に線を書き込むことができます。



画面上のタップした位置にテキストを挿入できます。



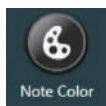
矢印を挿入できます。



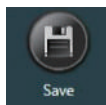
挿入した線やテキストなどの注釈を消去します。

5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

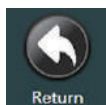
5-2. Picture View画面(つづき)



線およびテキストの色を変更します。



注釈を追加した画像を保存します。



メイン画面に戻ります。

5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

5-3. Video View画面

メイン画面の「Video View」



」をタップ/クリックします。



プレビューリスト(画面右側)で選択した動画を削除します。
削除前に確認画面が表示され、「OK」を選択すると動画が削除されます。



動画に目次を付けることができます。
目次を付けたい位置にバーを操作し、目次名を入力します。
右側のリストから設定した映像の再生位置に移動できます。



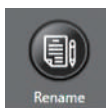
動画の再生中にタップ/クリックするとその時の画像を保存できます。
画像はPicture View画面から確認できます。



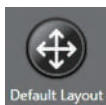
フォルダの削除、作成、名前変更などの操作ができます。
具体的な操作方法については「5-5. フォルダ管理画面」を確認してください。

5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

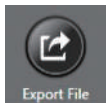
5-3. Video View画面(つづき)



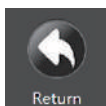
動画ファイル名を変更します。
タップ/クリックするとファイル名の入力画面が表示されます。
新しいファイル名を入力し、選択した動画の名前を変更することができます。



デフォルトのレイアウトに戻します。



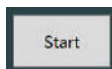
選択した動画をエクスポートします。(エクスポートする前に、USBメモリなどの外部ストレージデバイスを接続しておく必要があります。)



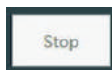
メイン画面に戻ります。



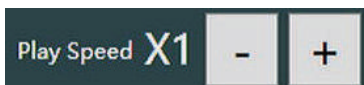
再生の進行状況を示し、バーを左右に操作することで再生の進行状況を調整できます。



動画を再生します。再生中は「Pause」に変わり、選択すると一時停止します。



再生を停止します。

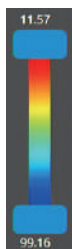
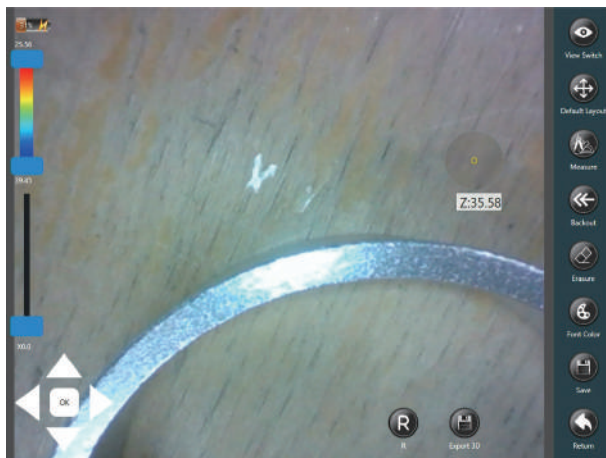


再生速度を調整します。

5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

5-4. 測定画面

メイン画面の「Measure」をタップ/クリックして撮影後に表示される小さな写真を選択、もしくは「Picture View」から「Measure」を選択すると、測定画面に入ります。



3D Viewで表示する色の表示範囲を制限します。

測定用写真は製品仕様上、ノイズが発生します。

上下のバーを動かして、3D Viewで表示しない色の範囲を決定します。

バーに挟まれた領域の色が表示から除外されます。

※この機能は3D View時のみ有効です。

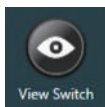
※基本的にはバーで挟んだ領域の色が除外されますが、挟んだ領域の色が若干残る場合があります。



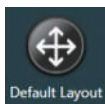
ズームしたい位置を画面中心にしてスクロールバーをドラッグするとズームします。

5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

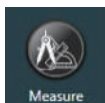
5-4. 測定画面(つづき)



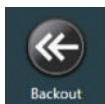
Viewを切り替えるためのメニューを表示します。
具体的な内容については「5-4-1. Cut View」を確認してください。



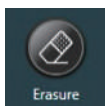
デフォルトのレイアウトに戻します。



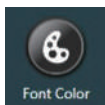
測定のためのメニューを表示します。
直線、面積、深さなどの測定方法を選択して測定できます。
具体的な測定方法については「5-4-2. 測定方法」を確認してください。



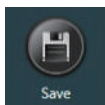
前のステップで画像に対して実行した操作をキャンセルします。



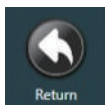
画像上のすべての注釈と測定操作をキャンセルします。



フォントの色を変更します。



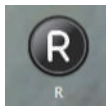
測定/操作した画像を保存します。
保存の際、ファイル名を編集できます。



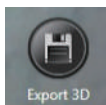
前の画面に戻ります。

5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

5-4. 測定画面(つづき)



円形形状に合わせて、測定用の基準円を表示する機能です。
基準円の大きさは数値を入力して調整します。

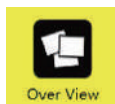
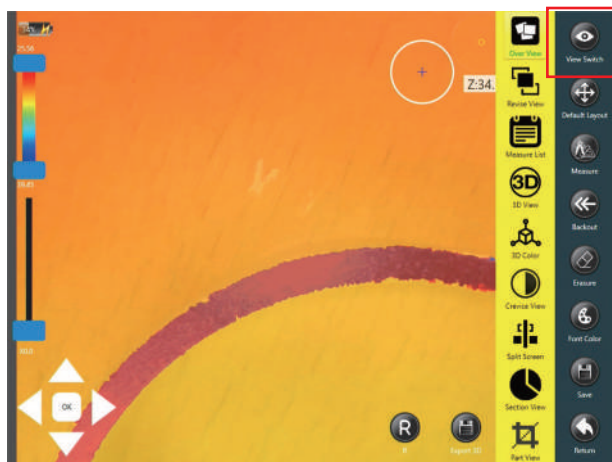


3D測定データをファイルとして保存する機能です。
USBメモリを接続した状態で実行すると、PLY形式のファイルがUSBメモリに保存されます。

5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

5-4-1. Cut View

測定画面の「View Switch」をタップ/クリックします。



元の画像と測定用画像を重ねて表示します。上の画像はOver Viewです。

※システム設定の「OverView Wighted」から、元の画像と測定用画像の重ね合わせの比率を調整することができます。



元の画像を表示します。



「Measure」で測定したデータを画像の左側にリストで表示します。



3Dで表示します。

画像の拡大および縮小、多方向への回転ができます。
また測定後に表示すると、測定箇所の確認ができます。

※この画面の状態では測定はできません。



深さ（Z値）情報に応じて色分けした3D表示に切り替える機能です。

5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

5-4-1. Cut View(つづき)



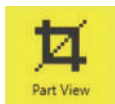
隙間や割れ目などの欠陥箇所がより目立つように表示します。



画面を左右に分割し、左側に2D画像、右側に3D画面を表示します。



画面上で2点を指定すると、その2点を結ぶ線を基準にした断面を表示します。



画面上で2点を指定すると、その2点を対角とする範囲を抽出して3D表示します。

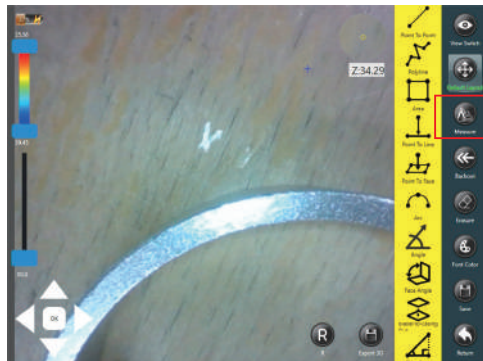
指定した一部分のみを拡大して確認できます。

※測定ポイントの指定方法については「5-4-2. 測定方法」を参照してください。

5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

5-4-2. 測定方法

測定画面の「Measure 」をタップ/クリックします。



測定ポイントの選択方法

測定ポイントは以下の3つのいずれかで選択します。

1. マウス操作

- マウスのホイールボタンを押して、マウスモードに入ります。
- 左クリックで測定ポイントの選択を確定します。
- 右クリックで選択を解除します。
- マウスホイールをスクロールすると拡大または縮小します。

2. タッチ操作

- タッチ操作でポイントをだまかに選択できます。
- 画面の左下にある矢印キーをタッチしてポイントを微調整できます。
- タッチし続けると素早く移動できます。
- 中央のOKをタッチすると測定ポイントの選択を確定します。
- 画面左のスクロールバーで拡大または縮小します。

3. カメラ操作レバー

- レバーを倒した方向(上下左右)にポイントが移動します。
- レバーを押し込むと測定ポイントの選択を確定します。
- 画面左のスクロールバーで拡大または縮小します。

5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

注意事項

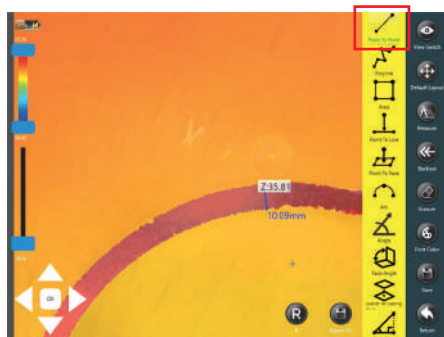
- カーソルの移動時、円形フレームの下にZ値が表示されます。これは測定レンズと測定対象物との距離を表します。測定対象物までの距離が測定できない場合は「Z:0.00」と表示されます。
- カーソル付近に表示される円形フレームは拡大機能で、カーソルの箇所を部分的に拡大しています。測定ポイントを選択する際に便利な機能です。
- 測定用画像の色はZ値によって変わります。色が大きく違う箇所は高さが大きく異なることを示しています。測定したい内容に応じて測定ポイントの色を選択することで、効果的な測定を行うことができます。
- 「Z:0.00」の表示は測定できないポイントです。測定したい箇所が測定できない場合、画像の撮り直しが必要です。撮影時の角度を変えたり、明るさを変えたりして再度撮影してください。
- 測定中にタッチまたは画面上の制御ボタン(画面左下)でポイントを選択する際、括弧書きで暫定の測定値を表示します。このとき測定線は破線になります。OKキーを押すと、測定接続が実線になり、測定値が確定します。
- カメラ操作レバーでの測定操作は測定モード時のみ有効です。通常時、カメラ操作レバーはケーブル操作に使用します。

5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

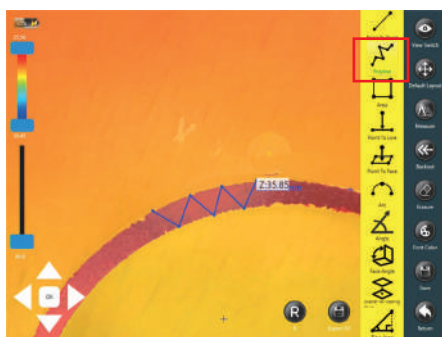
5-4-2. 測定方法 (つづき)



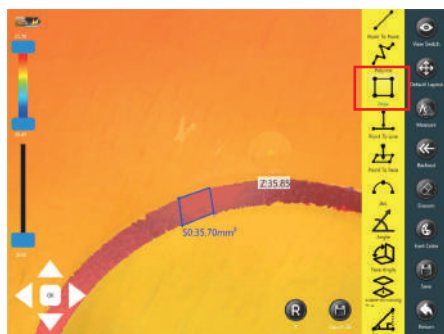
2点間の直線距離を表示します。



2点以上の点を選択して連続した線分の距離を表示します。



3点以上を選択して面積を表示します。



2点を選択して線を決定します。
次にもう1点を選択すると、点から線までの垂直距離を表示します。



5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

5-4-2. 測定方法 (つづき)



3点を選択して平面を決定します。
次にもう1点を選択すると点から平面までの垂直距離を表示します。



画面上で3点を指定し、その3点を通る円弧の長さを測定します。

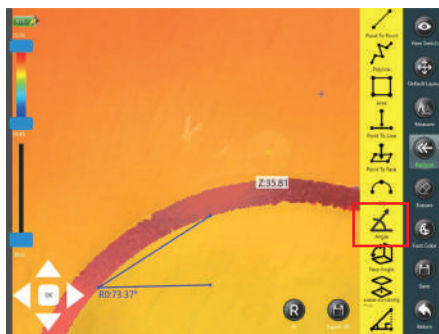


5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

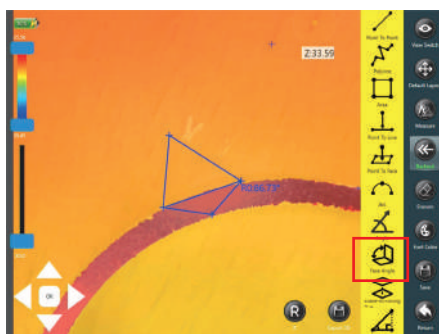
5-4-2. 測定方法（つづき）



画面上で3点を指定し、その3点で構成される角度を測定します。



画面上で4点を指定し、2つの平面(面)同士のなす角度を測定します。
1点目で1つ目の平面の頂点を、2・3点目で両平面に共通する辺を、4点目で2つ目の平面の頂点を指定します



5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

5-4-2. 測定方法 (つづき)



本機能は、3点で平面を指定し、追加で1点を指定することで距離を測定します。現行仕様では、「Point To Face」と同様の測定結果が表示されます。面と面の高さ差の算出については、今後のアップデートで対応予定です。



画面上で4点を順に指定し、測定を行います。最初の3点で測定対象となる形状を定義し、4点目の位置によって、算出対象となる面積・辺の長さ・角度が決定されます。4点目が有効範囲外の場合は測定できないため、その際は位置を変更してください。

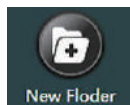
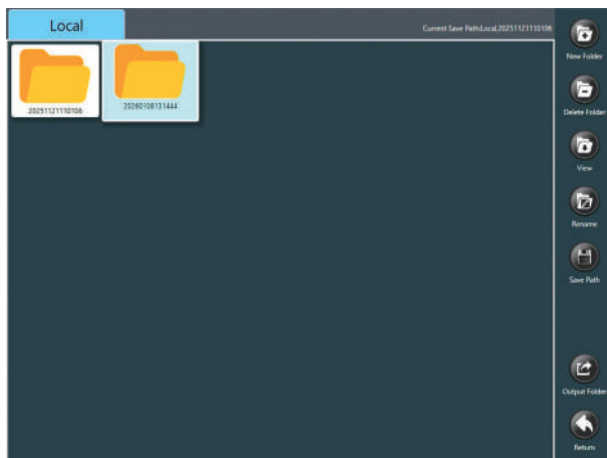


5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

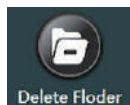
5-5. フォルダ管理画面

Picture View画面の「Folder Manger 

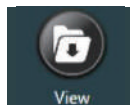
」をタップ/クリックします。
写真や動画が保存されているフォルダの削除、フォルダ名の変更、新規フォルダの作成、フォルダのエクスポートなどの操作が可能です。



新しいフォルダを作成します。作成前にファイル名の入力画面が表示されます。ファイル名を入力して「OK」を選択すると、画面左側に新しく作成したフォルダが追加されます。



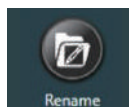
フォルダを削除します。削除前に確認画面が表示されます。「OK」を選択すると、フォルダが削除されます。



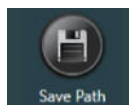
フォルダを読み込み、Picture/Video View画面に移行します。

5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

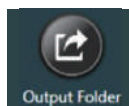
5-5. フォルダ管理画面 (つづき)



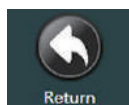
フォルダの名前を変更します。
新しいファイル名の入力画面が表示されます。
「OK」を選択するとフォルダ名が変更されます。



撮影した画像や動画の保存先フォルダを設定する機能です。
フォルダー一覧で保存先にしたいフォルダを選択した状態で、アイコンを押すと設定されます。設定後は、撮影した画像や動画が指定したフォルダに保存されます。



フォルダをエクスポートします。
はじめにUSBポートにUSBメモリなどを挿入します。
その後、エクスポートするフォルダを選択し、Export Folderを選択してください。確認画面が表示され、「OK」を選択するとエクスポートします。



前の画面に戻ります。

5-6. レポート管理画面



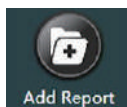
Picture View画面の「Report」をタップ/クリックします。

レポートの作成、削除、エクスポートが可能です。



5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

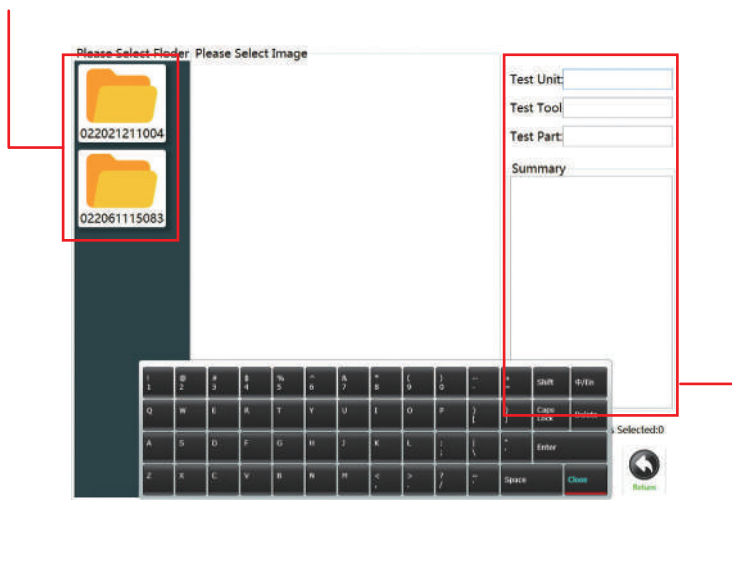
5-6. レポート管理画面(つづき)



レポートを作成します。

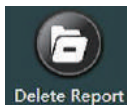
左側にフォルダのリストがあります。レポートに使用したい画像のフォルダを選択すると、フォルダ内のすべての写真が中央に表示されます。

レポートに使用したい画像を選択するには、画像をタップ/クリックします。選択を解除するためにはもう一度同じ画像をタップ/クリックします。画像選択は複数可能です。

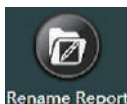


右側にレポート情報入力ボックスがあります。入力後、「プレビュー」を選択してレポート画面に入り、レポートを保存できます。

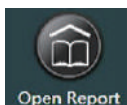
5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)



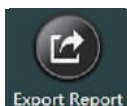
レポートを削除します。
削除前に確認画面が表示されます。
「OK」を選択すると、レポートが削除されます。



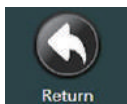
レポートの名前を変更します。
新しいレポート名の入力画面が表示されます。
「OK」を選択するとレポート名が変更されます。



レポートの内容を確認できます。



レポートをエクスポートします。
すべてのレポートをUSBメモリにエクスポートします。
特定のレポートを選択してエクスポートすることはできません。
エクスポートする場合は、はじめにUSBポートにUSBメモリなどを挿入してください。
エクスポート前に確認画面が表示され、「OK」を選択するとエクスポートを開始します。
レポートの拡張子は「xps」です。

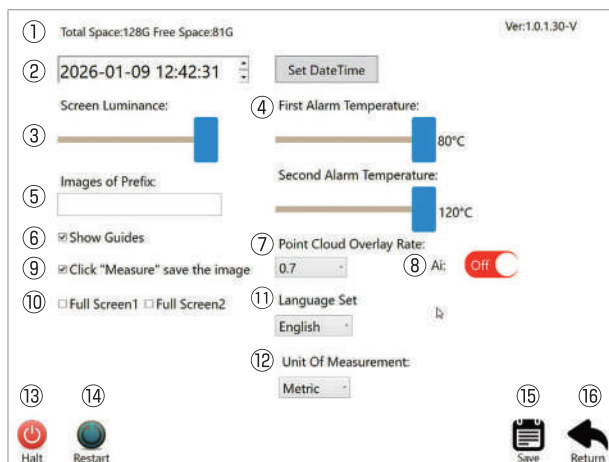


前の画面に戻ります。

5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

5-7. システム設定画面

メイン画面の「SystemSet」をタップ/クリックします。



① Total Space:128G Free Space:81G

ストレージ容量を表示します。

② 2026-01-09 12:42:31 Set DateTime

設定する日付や時刻を選択し、▲もしくは▼をタップ/クリックすることで調整します。
「Set DateTime」を選択して保存します。

③ Screen Luminance:

バーを左右に動かして画面のバックライトの明るさを調整します。

④ First Alarm Temperature: 80°C Second Alarm Temperature: 120°C

バーを左右に動かしてアラーム温度を事前設定します。レンズ温度が設定温度を超えると、メイン画面左上の温度アイコンの左側に警告アイコンを表示し点滅します。

5. ソフトウェアの操作方法 (つづき)

5-7. システム設定画面(つづき)

⑤ Images of Prefix:

撮影画像名の接頭語を設定できます。設定後、入力した接頭語が表示されます。

⑥ ☒ Show Guides

チェックボックスにチェックを入れると、ガイド線を表示します。

⑦ Point Cloud Overlay Rate:

Over View時の重ね合わせ度合(通常画像×測定用画像)を調整します。

0.1～0.9の範囲で設定可能です。

数値が大きくなるほど測定用画像の割合が大きくなります。

数値が小さくなるほど通常画像の割合が大きくなります。

⑧ Ai:

本表示は将来的な機能拡張を考慮したものです。

現在は設定変更による影響はありません。

⑨ ☐ Click "Measure" save the image

チェックボックスにチェックを入れると、メイン画面で「Measure」をタップ/クリックして測定を実行するたびに、測定画像が自動的に保存されます。

チェックが入っていない場合、「Measure」をタップ/クリックして測定を実行しても画像は保存されません。

撮影後に測定用画像をタップ/クリックして測定画面に入った場合のみ、測定用画像が保存されます。

⑩ ☐ Full Screen1 ☐ Full Screen2

メイン画面の映像の比率を設定します。

チェックを入れない場合は元の比率で表示されます。

「Save」をタップ/クリックすると設定が保存され、比率が変更されます。

5. ソフトウェアの操作方法（つづき）

5-7. システム設定画面(つづき)

⑪ Language Set

English ▼

システムの言語を切り替えます。(日本語設定はありません)

⑫ Unit Of Measurement:

Metric ▼

計測値の表示単位を変更する機能です。
MetricとImperialから選択できます。

- ⑬  タップ/クリックすると確認画面が表示され、「OK」を選択するとシャットダウンします。

Halt

- ⑭  タップ/クリックすると再起動します。

Restart

- ⑮  設定したパラメータを保存します。
一部の設定は保存しない状態でも反映されますが、一度電源を切って再起動を行った場合は設定内容が反映されません。設定後は必ず保存してください。

Save

- ⑯  メイン画面に戻ります。

Return

6. その他

6-1. HDMI外部モニタへの出力

本体モニタ表示と同じ内容を外部モニタに出力します。

付属のHDMIケーブルを外部モニタに接続してください。

自動的に外部モニタへ出力されます。

※HDMI出力時は、タッチ位置と表示位置に軽微なずれが生じることがあります。あらかじめご了承ください。

6. その他

6-2. 製品仕様

製品名	計測機能付き工業用内視鏡GAZE
型番	3R-GAZE01
液晶モニタ	10インチ
モニタ解像度	1024×768
撮像素子	100万画素CMOS
先端外径	6.0mm
ケーブル有効長	約2m
カメラ可動範囲	約160度±10度 ※可動範囲は製品出荷時の合格基準であり、購入後に使用したもの、または時間が経過したものはこの基準に含まれません。
焦点距離 DOF	約8～80mm
視野角 FOV	約120度
光源	LED×4 (調光:OFF+12段階)
静止画サイズ	1,280×720/bmp
動画サイズ	1,280×720(30fps)/ avi
保存媒体	128GB SSD (内蔵) USBメモリ
インターフェース	HDMI USB3.0
バッテリー	11.1V/7,000mAh
使用時間	約2時間
充電時間	約6時間
防塵/防滴	挿入部:IP67
重量	約3.2kg ※1
寸法	約292×225×70mm ※1
動作温度範囲	-10℃～50℃ ※2

※1 モニタ部のみ(カメラケーブル及びコントローラは含まない)

※2 カメラケーブル部のみ(モニタ及びコントローラは含まない)

6. その他（つづき）

6-3. 製品を破棄するときのお願い

本製品にはリチウムイオン電池が内蔵されています。

不要になった製品はスリーアールソリューション株式会社宛てに発送いただくか、弊社へご相談いただき、リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

6-4. 故障かな?と思ったら

Q1 カメラ先端の可動角度が浅くなった。

A1 ワイヤーや固定部品の経年劣化により性能が損なわれることもあります。カメラケーブルが巻かれたまま、ケースに収納されたままなどカメラケーブルにストレスを与えている状態ではワイヤーの摩擦が上がり思うように可動しない場合があります。カメラケーブルをストレートに伸ばした状態でコントローラを操作してください。

Q2 映像が不鮮明

A2 レンズの表面をきれいな布で拭き取ってください。

汚れがひどい場合はアルコールを湿らせた布で拭き取ってください。

6-5. よくあるお問い合わせ

Q1 充電電池は交換できますか？

A1 充電電池は預かり修理にて交換可能です。

Q2 1年内の故障は全て無償でしょうか？

A2 通常使用での故障に限ります。打痕や物理的な損傷などがみられる場合はお見積もり費用が発生することがあります。

Q3 耐油性はありますか？

A3 本製品に耐油性はありません。

6. その他

6-5. よくあるお問い合わせ(つづき)

Q4 保証期間は過ぎており、使用頻度が少ない場合に無償で修理可能でしょうか？

A4 使用頻度については弊社で把握できかねますので一律、製品に保証期間を設け保証期間で有償・無償を線引きさせていただいております。ご理解ください。

[illegible]

[illegible]

サポートおよび企業情報

製品保証

ご購入日から1年間

※注文確認メール、あるいは店頭購入の場合は販売店の納品書やレシートなど、購入日がわかる書面の保管をお願い致します。

保証規約はこちらからご確認くださいませ。

URL <https://3rrr-hd.jp/guarantee/agreement/>



製品に関するお問い合わせ先

下記お問い合わせ窓口もしくは販売店へお問い合わせください。

※製品の不具合によるお問い合わせにつきましては、内容確認のため画像が必要な場合があります。メールでお問い合わせいただけますとスムーズです。

※メールでお問い合わせの際はご購入いただいた日付けが記載された【レシート】または【領収書】の画像の貼付をお願いします。

※ネット通販(ショッピングサイト)で購入された場合は、【購入店舗名】と到着した製品に同梱されていた【納品書】や【受注完了画面】の画像の貼付をお願いします。

MAIL

product-support@3rrr-hd.jp

TEL: 092-260-3031 FAX: 092-441-4077



スリーアールソリューション

THREE R SOLUTION CORP. JAPAN

スリーアールソリューション株式会社

〒812-0008 福岡市博多区東光2丁目8-30 2階

WEB : <https://3rrr-btob.jp/>